

「向陽小学校の広木虚無僧踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	鹿児島市立向陽小学校
2. 学年・人数	5・6年生 90人
3. 日時・場所	<p>(1) 練習の日時・場所 令和7年9月～10月 向陽小学校体育館・校庭</p> <p>(2) 発表の日時・場所 令和7年10月26日 向陽小学校運動会</p>
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能、伝統 行事、伝統工芸 品について	<p>(1) 名 称 鹿児島市郷土芸能 広木虚無僧踊り（ひろきこむそうおどり）</p> <p>(2) 由 来 虚無僧と棒使いに分かれ踊りを踊る。由来については主家の再興を図り農兵を起こそうとした説や虚無僧の振る舞いに腹を立てた農民が戦いを起こした説等があるが、定かではない。</p>
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	<p>学校と地域が連携協力しながら棒踊りを継承していくために、「広木虚無僧踊り保存会」の方々を講師として招き、運動会に向け複数回練習を重ねている。10月末の運動会では、5・6年生が発表している。また、3月には4年生が、虚無僧踊りに込められた願いなどを学んだ上で、踊りを体験するなど、地域と連携して棒踊りを伝承している。</p>
6. 取組の様子 （練習状況、発 表の場等）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">保存会の方と運動会で発表</p>
7. 感想・意見 (参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等)	<p>【児童】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虚無僧踊りは、虚無僧と農民と息を合わせる動きが難しい。息があったときには、かっこよく踊れた。 ・地域の方に、動きを覚えてもらう中で、仲良くなれたのは、よい思い出である。 <p>【教員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統芸能を学ぶことは、地域の方の願いや地域の歴史を知り、地域の方とのつながりも生まれる貴重な機会となっている。